



9/27 公明党全国大会



10/18 公明党長崎県本部大会



再任された麻生隆県代表

公明党は、9/27 全国大会を開催し、党代表に山口那津男代表を再任し、勇躍出発しました。
私達、長崎県本部も、10/18 長崎県本部大会を開催し、県代表に麻生隆県議が再任され、現在の体制を引き継ぐ形で決意を新たに出発しました。

この大会で、県本部議員全員が「大衆とともに」の立党精神を胸に、小さな声を聴き、縦横の連携を密に、今後も地域課題解決と発展のため、誠心誠意頑張る事を決意しました。
今後も私達公明党にご指導ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

実現しました！実現します！



西諫早小学校裏門の北バイパスへ向かう道の真ん中に直径1mほどの陥没があり、地域の方のご指摘を受け修復していただきました。

上記の道に沿う段差のついた歩道です。植樹された樹の根が歩道まで伸び、盛り上がっています。歩行者や自転車が躓く要因となっています。現在修復の検討中です。



実現します！久山町名切地区の指定学校変更！

久山町名切地区の小学生の通学路に関して調査を行い、R1.6月より議会にて3回一般質問し、通学路の危険性を訴えてきました。

その対策として真津山小学校から喜々津東小学校への通学変更とともに、真津山小学校までの通学路の安全対策を求め、側溝蓋の取り付けやガードレール設置、地下道の安全確保そして路面表示など安全対策を講じて頂きました。

今回、市教育委員会は、久山町名切地区にお住いの児童を対象に登下校時の安全確保を図る観点から指定学校変更により、希望される方は **R3 年度から喜々津東小学校へ通学**できるように取り扱う事としました。



9月
議会

ゆた清美 議会質問より

質問1

今年のコロナ禍での7月豪雨時の避難所開設はスムーズだったか。

答弁1

避難訓練をして開設に臨んだが、入場の際、時間がかかり市民の方々にご不便をおかけした。この反省を踏まえ、受付職員を増員したり、受付名簿を世帯ごとに記入できるカードにしたりと工夫を取り入れている。

質問3

諫早市には防災士は何人いるのか。また、防災士の役割は。

答弁3

諫早市には防災士は143人いる。
防災士とは自助・共助・協働を原則として社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と技能を習得した日本防災士機構が承認した者。
期待される役割は、平常時は自分の身の回り・家庭の防災減災対策の実施、地域や企業における防災意識の啓発活動・訓練・研修などの実施や参加をする事。

質問5

2015年に水防法が改正された。この年以前に自治会で作成したハザードマップは点検を実施する必要があるのではないか。

質問2

災害時の自治会との連携や情報共有はどうなっているか

答弁2

現在、自治会長の方々との緊急時における連絡体制はない。
災害時の情報発信が確実に届く方法は防災メール。
自治会連合会の方々に登録を促している。
自治会連合会の役員会で総務課の職員が出向き、防災メールの登録を全員にさせていただいた。

質問4

防災士の育成や自主防災組織の設置に力を入れ、モデル的に自治会に避難所開設や運営を移譲してはどうか

答弁4

市が運営している広域避難所は公共施設であり、開設にあたっては施設管理者と避難場所としての利用調整などを行っている。
このような事を考えると、避難所開設の権限を自治会に移譲するのは難しい。
しかし、市の職員だけで行うには限界が来ると思う。
自治会との協力関係のしくみについて検討してみたい。

答弁5

2015年以前に作成された自治会のハザードマップの点検は難しい部分があるので市の方で点検・見直しを行っていく。

どんどん語ろう公明党の実績!

1人当たり10万円を給付

予算案を変更する異例の対応で行われた「1人当たり10万円の給付」は、公明党の山口代表が安倍首相（当時）に直談判して実現したものです。

ワクチン確保へ政府動かす

公明党はワクチンの確保を政府に訴え、開発を進めている外国企業との交渉を後押ししました。

事業者を応援

苦境が続く事業者の
ため、持続化給付金な
ど支援策を設けました。



新型コロナウイルスの感染などにより
苦境に陥る事業者を支援する公明党＝7月2日

被災地に急行、支援へ走る



熊本地震や九州豪雨な
どの災害時、国と地方の
公明議員は現場に急行。
被災者の要望に応じてき
ました。

豪雨の被災現場に駆けつけ、避難者を支援
山口代表（中央）ら＝7月11
日 熊本・八代市

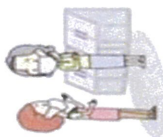
災害から命を守る政策を前進

防災・減災へのインフラ整備など国民の命を守
るための「3カ年緊急対策」を進めてきました。

あらゆる世代を応援!

「庶民の心」政策に反映

きょう党大会を迎えた公明党は、長年、
庶民の声を政治に反映し、新型コロナウイルス対
策など多岐な実績を築いてきました。来
たる政治決戦の勝利へ、全世代を応援する
公明党の魅力を語り、一人一人が「対話
の新記録」に挑みましょう!



高齢者

年金、条件や金額で手厚く

年金の受け取りに必要な加入期間を10年に短く
し、金額が少ない人への給付金も実現しました。

医療費や保険料、負担減へ

月々の医療費支払いに上限を設ける制度を改善
し、超過分の立て替えが不要に、介護保険料も軽減。



白内障治療に保険

白内障手術の保険適用を實
現。脚元の原因「肺炎球菌」
のワクチンを定期接種に。

高校授業料など「ゼロ負担」

保育所や私立高校の授業料が無料に。公明党が
訴えてきた教育負担を減らす政策が進みました。

児童手当の創設、拡充実現

児童手当は、公明党が公明政治連盟の時代から
訴え創設されたものです。その後、公明党が拡充
をリードしています。

不妊治療の助成に最大30万円

不妊治療を受ける人に対して1回につき最大15
万円（初回は最大30万円）の助成を実現しました。



未婚ひとり親支援

配偶者と離婚した人などの
税負担を減らす制度を未婚の
ひとり親も対象にしました。

若者

返す必要のない奨学金実現

結党以来提案してきた、「返す必要がない奨学
金」の制度を実現。学費の免除も進めています。



就職支援を充実

「就職氷河期世代」を支援
するため、就職などをサポー
トする仕組みを設けました。



いつでも、どなたで
もご意見・ご要望を
お聞かせください

〒854-0067 諫早市久山台 93-4 ゆた清美

TEL:090-5296-9848/FAX:0957-28-9833